

女子学徒たちにとっての沖縄戦とは？ 証言から沖縄戦を考える

ねらい

- ・証言映像を見ることで、学徒として戦争に参加した女子学生から見た沖縄戦の具体的な事実を捉え、戦争の悲惨さに気づくことができる。
- ・女子学徒の証言者が証言を通して伝えたいことを考えることができる。

	授業の展開 ☆生徒の反応 ●主な発問	留意点
導入 10'	<p>1. 沖縄戦について知っている情報を整理する。前時までの復習をする。 ☆唯一の地上戦が起きた戦争だった。 ☆多くの人々が亡くなった。</p> <p>2. 多くの人々が沖縄戦で亡くなった理由を考える ●なぜこれだけ多くの人々が沖縄戦で亡くなったのだろうか。 ☆住民が巻き込まれたから。 ☆戦争に参加させられたから。 ☆日本軍もアメリカ軍も巻き込んだ戦いだったから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに学んだ太平洋戦争の経緯や沖縄戦の概要について振り返り、その特徴を押さえる。 ・既知の情報を整理しながら、なぜ沖縄戦では多くの人々が亡くなったのか考えるようにする。 ・住民として戦争に巻き込まれ被害にあっただけではなく、兵士や後方支援として戦争に動員された人々もたくさんいたことを押さえ、その中に女子学生がいたことを知らせる。
展開 35'	<p>3. 「女子学徒たちの沖縄戦」(0:00~13:43)を視聴し、女子学生が戦争に巻き込まれていく過程を知る。 ●女子学生はどのように戦争に巻き込まれていったのだろうか。 </p> <p>4. 視聴後、沖縄戦の様子について整理する。 ●戦争の前後、米軍の上陸前後では女子学生の生活はどのような変化があったのだろうか。 ☆学校では学習から訓練に変わった。 ☆戦争に協力せざるを得なくなった。</p> <p>5. ホームページからさらに詳しく調べてみたい証言を選び、視聴する。 ●女子学徒は沖縄戦を通してどのようなことを体験し、何を感じたのだろうか。 </p> <p>6. 視聴した証言から、女子学徒が伝えたいことについて話し合う。 ●生き残った女子学徒が、証言を通して伝えなかったことは何だろう。 ☆平和の大切さ、平和な世にしてほしい。 ☆戦争の恐ろしさ。 ☆加害者もまた被害者であること。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エピソード1「女学校と師範学校での生活」～エピソード7「解散、そして死の彷徨」（戦争が終わるまで）までを視聴する。 ・女子学生が学徒として戦争に参加していく様子やその概要を捉えられるようにする。 ・視聴して分かったことを板書に整理する。 ・女子学生の置かれた状況に焦点化し、その様子を想起することで、当時の女子学生の様子や思いに興味関心を持つようにしたい。 ・可能であれば1人1台の端末を活用し、NHK戦争証言アーカイブス「消えた女学校 女子学徒たちの沖縄戦」のホームページから証言動画を選び視聴する。 ・視聴しながら、中山さんや女子学生の証言からわかること、沖縄戦の実態（事実）、女子学徒の思いなど、ノートに記入していく。 ・グループでそれぞれの証言に共通する沖縄戦の事実や問題点から、私たちに伝えたいことについて話し合い、まとめていくようにする。 ・女子学徒のそれぞれの状況だけでなく、住民や兵士の状況、日本軍や米軍の状況も踏まえて多角的に考えるようにする。 (参照：『関連する動画クリップと番組』『関連する番組』『NHK戦争アーカイブス 「沖縄戦」』)
まとめ 5'	<p>7. 学習を通して気づいたことやもっと調べてみたいことなどをノートにまとめる。 ☆男子学生は戦争に参加したのだろうか。 ☆日本軍や米軍等の兵士にとってはどのような戦争だったのだろうか。 ☆どのように平和な世の中を作っていくべきか。私たちにできることを考えたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を振り返り、今日の学習を通して分かったこと、考えたこと、さらに調べてみたいことを整理し、次時以降につなげていく。 ・できるだけ発表したり、ペアで伝えあったりして学んだことを共有する。 ・それぞれで別に聞いてみたい証言があれば、次の時間までに各自での視聴を促す。